

清流

あしりべつ

発行

清田地区町内会連合会
 〒004-0841
 清田区清田1条2丁目
 TEL 883-7600
 FAX 883-8057
 発行責任者 牧野 晃



休みなく車が行き交う国道三六号線。この幹線道路から少し中に入ると、都会の騒音をかき消して静寂なベールに包まれた清田緑地とその周辺の別世界が広がる。

道路沿いの丘陵には、木々の緑が濃淡のコントラストも色鮮やかな、トドマツ、ナナカマド、ノムラカエデなどに囲まれて、ひととき華やかに咲き誇る八重桜が目飛び込んでくる。

初夏の訪れを告げる 花と緑の競演

地上には真紅の可憐なチュウリップが風にそよぎ、花と木々の緑の競演が初夏の訪れを告げている。

四季折々に変化する緑地周辺の風景は、一幅の絵のように人々の心を癒してくれる。

豊かな自然に恵まれた清田区。動植物の生命の営みが繰り返され、時折聞こえてくる小鳥たちのさえずりに乗って、北国にも待ちわびた夏がやってくる。

”自分たちのまちは、 自分たちの手で をモットーに“



清田地区町内会連合会
会長 牧野 晃

五月八日、町連定例総会が終わり、今年度の活動がスタートしたところ。新年度にあたり、町連の課題や活動の方針について述べるところですが、その前に皆様方にお知らせすることがございます。既にご存じの方も多いかと思いますが、町連の前会長 伊藤義雄様が、四月二十五日にお亡くなりになったことです。

伊藤様は、五年間町連会長を努められ、地域の発展にご尽力頂きました。人柄は、大変やさしく人情家であり、また、詩人でもありました。ここで一句”などと即興で詩や短歌を詠み、よく聞かされたものでした。

伊藤前会長の一歩の功績は、有明の「産業廃棄物処理場」検討委員会の代表として、六年間にわたり反対の先頭に立ち、業者に設置を断念させたことです。ご冥福をお祈り致します。

さて、今年度町連の描くまちづくりは、

- ① 隣近所の付き合いがあり、お年寄りや子育てを支え合うまち、
- ② 地域が安全で、誰もが安心して住めるまち、
- ③ 豊かなみどりにかこまれ、便利で快適なまち、であります。

これからのまちづくりは、町連だけの力で出来るものではありません。町内会を中心に、その地域に住む皆が力を出し合うべきものと思います。

具体的には、福祉の課題では地区社会福祉協議会を中心に、福まち活動の原点である「町内会単位の福祉活動」の推進。

安全の課題では五年目を迎えた防犯パトロールで子どもたちの安全・地域の安全を守る活動。

自然保護の課題では、不法投棄監視パトロールと地域の清掃活動などをボランティア活動と合わせて、町内会、地域の諸団体と連携し進めたいと思います。基本は「自分たちのまちは、自分たちの手で」であります。よろしくお祈り致します。

二十一年度定例総会

清田地区町内会連合会の「平成二十一年度定例総会」が五月八日(土)午前十時から清田区民センターで開催さ

れました。(定数七十二人に

- 対し出席 代議員六十六人、
- 委任状六人)

牧野晃 会長が二十一年度は人



に優しいまちづくり、安全で安心して住める地域づくり、緑豊かなまちづくり」に力をそそぎ、成果が上がって来ています。

今後も住みよいまちづくりを目指して行きますと挨拶。続いて真栄第三町内会の橋文也さんを議長に選出し議事に入りしました。二十一年度の事業と決算報告、一世帯三〇〇円を四〇〇円に値上げする町連の会費改正、二十一年度の事業計画と予算案が示され原案通り承認されました。

質疑応答では「各部事業決算書」の中で「財務部」の科目は内容から考慮して「一般会計主要項目内訳」で処理すべきではないのか。「負担金」については資金を受ける団体の活動内容など、全体像が判る様に伝えて欲しい。などの意見が出され、前向きに取り組む事で了承されました。

報 告

顧問の伊藤義雄さん死去 まちづくりに奔走



町連の顧問として
地域を見守ってきた
伊藤義雄(いとう・よしお)さんが四月二十五日、病気のため死去されました。七十七歳でした。

伊藤さんは平成五年から十二年まで真栄第二町内会長、その間町連の防犯部長に就任。九年から十四年まで町連の副会長、十四年四月から十九年まで会長として指揮を執り、その後、顧問に就任するなど合わせて十七年間にわたって清田地区の発展に力を注いで来られました。

伊藤さんは詩人としても親しまれ、様々な会議や会合の席上、即興で短歌を披露し出席者を唸らせることも度々でした。これまでに詠んだ詩や短歌は数え切れないほどで、ご遺族では故人の遺志を継いで「詩集」を出版する事にし、その準備を進めています。

合 掌

葬儀終了後、ご遺族から町連に対し「お志」がありました。

町連ではご厚意を「まちづくり」に役立ててまいります。ありがとうございます。

町内会長を囲んで座談会・続

開催日 二十一年十月二十日
二十二年「二月号」からの続きです。

出席者

- 林 憲 清田町内会長
- 松原 宏悦 清田有楽町内会長
- 野村 正巳 新平岡町内会長
- 藤本 石雄 真栄第一町内会長
- 氏家 正真 真栄第二町内会長
- 田崎 克典 真栄第三町内会長
- 設楽 省三 真栄第四町内会長
- 宮下 隆敏 東真栄町内会長
- 児島 輝典 美しが丘町内会長(前)
- 勝崎 春一 有明町内会長(前)



司会 横江 光良
防災・防犯部長

録音：テープ起こし

佐々木康子 (広報部員)

テーマ

②子ども会の状況について

司会

子ども会のない町内会が「清田、新平岡、美しが丘、有明」です。他の町内会は活動も活発のようですね。

真栄第三

当町内会は青少年育成部が活発に動いています。当初、少人数でしたが分譲住宅が出来て子どもたちが増え、会も一層活発化しました。会ではラジオ体操、七夕祭り、クリスマス会などを行っており私も出来る限り顔を出しています。子どもが動くという事は母親も一緒に動くため、お母さんたちのコミュニティケーションにつながり、協力・活動もスムーズに進行しています。子ども会には町内会から約十萬円の予算を出しています。



有楽 少子化で年々減少し現在三十人ほどになっており、子ども会で実施していた廃品回収は町内会でも無いためお正月のイベントや盆踊りなどの行事も出来ず可哀想で申し訳ないと思っています。皆様にお聞きしたいのですが、子どもたちのために盆踊り、お正月、クリスマス会が絶対にあつた方が良いでしょうか？

清田

町内会では盆踊り、祭りの神輿もあり

ましたが、神輿は宗教がらみで止めました。子ども神輿は楽しかったが、子どもが少なくなり残念ながら止めてしまいました。

真栄第一

子ども会に入会している子が少ないですね。結果的には現在二十人前後で推移しています。対象は幼稚園から中学生までですが中学生は部活などで殆ど顔を見せず、実際は小学生までしか参加していません。町内会では現在七万円の予算を出し活動を助けています。子どもの減少は町内会への未加入が影響しています。



有楽 真栄団地 当町内会も少子化で小学生は三十人ほどしかいません。

でもお母さんが非常に頑張っており、町内会としては口は出していませんが年間五万円ほど援助しています。行事は六月公園での大運動会、七月当会館でのお泊り会、九月には会館でお年寄りに手伝ってもらいどん作り、十月にはボーリング大会、十二月にはクリスマス会。対象は幼稚園〜小学生までで中学生は入っていません。盆踊りでは、宗教色云々で大騒ぎした事もありましたが、孫の里帰りで参加した事例もありました。日本古来の伝統という事で今後も絶対に続けようと思っています。

真栄第四

子ども会は青少年育成部の担当で、二十一年に部長の情熱で再構築し立ち上げました。対象は小学生から高校生までです。高校生は花火大会の際に中心となつて危険からガードしてくれています。会員数も増えており、将来のある子ども達です。大切にして行きたいと思っています。行事も積極的に開催しており、良い状態が続いています。子ども会への加入は町内会の会員が前提ですので、子どもが子どもを誘つて入会するなど町内会の会員を増やす一つの手段ともなっています。

真栄団地

団地には小学生から中学生を含め子どもさんが一〇〇人ほどしかいません。しかし盆踊りには子どもたちに配る参加賞が三〇〇〜五〇〇人分用意します。これは里帰りする子どもに加え、周辺から集まってくる子どもについても考えて用意しています。盆踊りの経費については町内会の予算で頑張っています。

司会

個々の町内会が同じような事をするのではなく、良い事例があれば周りから盛りたてて一緒に行動する、十一町内会で協力出来たら良いなと思いました。また、人材育成も必要で、役員として協力する人が増えてくると活動の場も広がるのではと感じました。



東真栄 会長
四月に小学生を対
象に子ども会入会
の案内を出し二十

一年は四十五人が入りました。行事は五月にボーリング大会、七月は手稲オリンピア遊園地に行き、あとはラジオ体操、七夕祭りでは提灯を持って各家庭を回りました。十二月にはクリスマス会があります。町内会では青少年育成部から子ども会に十二万円を出しています。



藤本 真栄第一 会長
三十年位前からサ
ンシャインという
子ども会が継続さ

れており、現在四十人程が入会しています。子ども会へは町内会への加入が前提になっており、青少年育成部と子ども会が連携し行事を続けています。行事には会員のお母さんが協力しています。盆踊りでは太鼓を叩く子どもの希望者を集めて指導もしています。その他、夏祭り、ふれあいの森親子レクリエーションなどを実施しています。最後に申し上げたいのですが町内会とPTAが連携して活動する事によって、子どもたちの事を考えて行動が出来るのではないか、そのためにも保護者が地域活動に関心を持ってもらいたい。PTA、町内会、町連が連携の意識を

持つて縦横斜めに見てもらえると地域にとつてうれいすね。子ども会は大切な取り組みです。無いところも含め補充し合つて進んで欲しいと思いました。



清田 七夕 会長
七夕祭り子ども
たちが提灯を持
て家庭を回る事

「くれる、くれない家」更に「中身の多い少ない」について子どもから文句が出て、PTAで問題になった事がありました。

東真栄

うちではお願いの回覧を回しており、来なければ怒るお母さんもあります。子どもたちにはチャイムを一回鳴らし出なかつたら帰る事、一軒家だけを回る事と決めています。

真栄第三

うちでは事前に連絡し、子どもたちの家庭訪問がOKの場合は玄関に目印の札を出してもらっています。

テーマ

③ 高齢者への支援協力活動について

司会

高齢者への支援で成果があがっている。また、是非取り組みたい、予算面ではどうか、などありましたらお話し下さい。

有楽

有楽会という老人クラブがあります。町内会と交流している札幌国際大学が食堂を開放しており誰でも利用出来るようになっていきますので、高齢の人を誘つて食事をするなど環境の変化を創作しています。その場所には学長や交換留学生にも参加してもらい一緒にテーブルを囲むなどの楽しい憩いの場づくりを行っています。又、その事が大切と感じました。

司会

有楽町内会の環境づくりについてパ
ンフレットで紹介
されていますが、
札幌市のサポート
ホット基



金から費用の半分が出ています。今回は町内会館にAEDを設置しようと市に共同購入で応募しています。市に街づくりの企画助成があり連合会の正会員ならば応募出来ます。今回の取組はそういう制度を活用しながら企画を進めた例です。

真栄団地

町内会には六十五歳以上高齢者が七八

〇人ほどいると推定しています。福寿会というクラブがあり一〇〇人前後が入会しており、団地会館で定例会を毎月開催しています。定例会では会費を集め食事をしながら親交を深めています。冬の間には室内パークゴルフも活発で会館の使用料は免除されています。町内会では口出しする事なく、支援しているのみです。

真栄第一

清真健友会というクラブがあり九十六人が入会しています。月に一回の定例会、二回の麻雀大会を開催、その他パークゴルフ、料理教室、カラオケ・焼酎の会など活発に活動しています。

健友会では公園等の整備も行っており町内会から十万円、福祉厚生関係で十五万円、更に独身高齢者の集いの会に三万五千円を助成しています。その他町内会でマンションの集会場を有料で使用していますが、健友会も利用し、コピー用紙やトナーも町内会で負担しています。清真健友会は町内会の一つの組織という認識です。

東真栄

昔から五町内会合同で寿会というクラブがあるため町内会には老人クラブはありません。会員は一〇七人で、その内の四十八人が東真栄の人たちです。月に二回例会を開いて交流を深めています。一会員二千円の会費で運営していますが、当町内会からは負担金とし

て五万円出していきます。行事も誕生会、宿泊を兼ねた旅行、血圧測定、医学の講義などを実施しています。



野村 会長
六十歳以上の方が対象の睦寿会というクラブがあつて

新平岡

六十五人ほどが入会しており、この内、凡そ四十九世帯がご夫婦で入られています。町内会の助成はなく、区からの公園管理費を元に運営しています。行事も町内会と一緒に、区役所前街路樹の花植え、町内会の清掃などを行っている他、町内会、睦寿会、民生委員が話し合つて、「介護保険と上手に付き合う方法」の寸劇を実施し要介護の支援や手続きなどについて皆が勉強しました。



真栄第四 会長
五町内会合同の寿会があるため単独の会はありません。

町内会からは敬老の日に八十歳以上の方へお祝い品を贈っています。

司会

独り暮らしの高齢者に対する見守り、個人情報関係も含めどのような対策を採つたら良いのか、役立つ事がありましたらお話し願います。

美しが丘 壮年、若い方が多いのが特徴で、高齢者の一人暮らしの情報も無く把握していません。



有明 会長
個人情報の問題が出る前(昭和四十年代)に全家族の名簿を作つており、生年月日も一目瞭然で知る事が出来ますのでフル活用しています。

東真栄

四年前に各家庭に対し「生年月日、勤務先、災害時の連絡先などのアンケートを行いファイルにしていますので長寿の祝にも活用しています。

有楽

個人情報からみで難しい問題も、民生委員との連携はどうなっていますか？

東真栄

真栄第三と合同で「独り暮らしを励ます会」を開いた際に、民生委員の協力を得て対象者に届け出をしてもらい人数を把握、案内状を出す事が出来ました。

真栄第三

歩けない人の送り迎えもしており、皆さん大いに喜んで居られました。

司会

現実の課題ですが、高齢者の様子を地

域が何らかの形で把握できると災害など様々な事項の解決にもつながりますね。高齢者の見回りについてアイデアがありましたら。

有楽

今のお話には女性部が入っていませんが子ども会、老人クラブ、それに女性部が一体でなければおかしいと思います。当町内会では実施していませんが皆さんはどう思いますか？女性部に動いてもらわないと何事も難しいと思うのですが。

真栄第二



真栄第二 会長
高齢者に対する行事では女性にも手伝つて頂いています。

真栄団地

独り暮らしの高齢者でも女性を外出しながらコミュニケーションを得ているため特に気を使つていません。しかし男性の方はコミュニケーションが少なく要注意と感じています。民生委員が把握していると思いますが、町内会としては把握は出来ていません。

司会

テーマにとらわれず町内会として「こういう事をやりたいのか、こういう事は出来ないのか」とのご意見がありましたら。

新平岡

総会で承認された事業を消化するのが

精一杯で、予算がらみもあり新しい試みまで手が回らないのが現状です。結果的に机上の論になつてはいけなと思つております。余裕が出来ましたらご意見を得ながら挑戦したいと思つています。

司会

街づくりについて経験者が報告する市の出前口座があります。ヒントになるとおもいます。

清田

初めて女性部を設けましたので活動したいと思つています。

有楽

町内会の会議が一時以内ならば役員として協力するなどの意見もあります。勧誘活動にも影響しますので無理しない時間を心がけています。

真栄第二

町内会で頭が痛いのは役員のなり手が居ない問題です。役員を一度受けたらなかなか離れられない、何年もやっている人に今後頼みますとは言いにくく一番の悩みです。

真栄第三



真栄第三 会長
班長、役員は一年で交代しています。長く役員を続けて

いると色々な問題を把握する事が出来るのですが、一年で役員を終了すると継続している問題解決が途切れてしまふ事もあります。任期を広げて行くし

か無いのかなと思います。

真栄第四

今回のテーマである、会員を増やす方策は町内会全体で取り組まなければならない問題と捉えています。町内会には八部がありますのでテーマについて部の中で重きを置いてやろうと思っております。

真栄団地

会員数が多いのに役員のなり手が無く皆さんの町内会と同じです。意見を多く出しますが、就任にはつながらず今一番の悩みです。



前会長 児島

美しが丘

ごみの問題で悩んでいます。他の町内会から捨てに来る人がおり連絡して対処しています。町内会どうして情報交換が出来るような関係になりたいと思っています。

有明

町内会会館の老朽化が激しいのですが建て替えるにしても資金集めが困難で先が見えません。しかし、民間の葬儀場が出来て町内会で使用したい時は無償で貸してもらえらるため利用しています。

会場にはカラオケの設備もあるため、弁当を用意し高齢者のためのカラオケを行っています。毎回四十人程が参加し好評を得ています。このため会館の必要性はあまり無いと感じているので

すが？

東真栄

高齢者への支援の件ですが、六十五歳以上の人がいる家を探して図面に記入、災害が発生した際に誰が支援するのかと云う処まで決めていきます。

ただ、「安心安全のまちづくり協議会」との関係がどうなるのか、協議会が出来たけれど単町とのつながりが無いような気がしていますので考慮して欲しい。

防災防犯部で安心安全マップ作りを行っているですので協力して行きたいと思っております。

司会

安心安全のまちづくり協議会では町内会だけでなく、地域の様々な団体を取り込んでの連携事業を進めて行く計画もありますので、活動の活性化を図るためにも皆さんの協力を得て進めて欲しいとの願いもありますね。

長時間にわたり建設的なご意見を頂きご協力ありがとうございました。

会談で 見えたこと 感じたこと

子ども会を組織している町内会の共通した悩みは、少子化による加入率低下である。だが、他の要因としては、母親の役不足が深刻（役員をやる前に

やめる）、

習い事に

通う子ども

も多い、

スポーツ

団体（目的が明確

で、選択

肢が多

い）の存在や役割が指摘できる。

「各町内会が、同様のイベントをや

るのではなく、内容によつては一緒にやる」「各町内会とPTAの連携が大

切」という提言は適切だ（例えば、学校の体育館を借り、オーケストラを招

く）。要は、活動内容の精選（親子に企画・立案・実行を一任）をし、予算

の重点化や新しい考え方、人材を取り入れる必要がある。

高齢者支援では、老人会を組織して



左：清水 芳洞 (広報部員) 右：長屋 俊一 (広報部員)

地域・保護者の皆様へ感謝！

札幌市立真栄小学校

校長 長尾 明也

学校の玄関には、右手奥にお花が美しく生けてあり、来校する方の心を和

いる町内会が多い。五町内合同の老人会

は横のつながりがあった効果的だ。

活動内容はどこも共通しているが「介護保険と上手に付き合う方法（寸

劇）（民生委員が協力）や地域の大学の食堂を利用し、交換留学生等との交流を図っている実践は特色がある。

また、独り暮らしの高齢者への見守りなどは、今日的課題に即応する実践

なので、各町内会での広がりを期待したい。災害時を想定し、個人情報

の収集や問題点に触れた論議は現実味があった。まちづくりは、日常の活動

を通じて、どの顔も見える人間関係づくりが重要だ。親子同士のつながりや

子どもと高齢者の交流（地域の老人や学生らが子どもに計算、漢字等を教えて

いる事例あり）等を活性化させるなど、時代に対応した地域社会を目指したい。

(清水 芳洞)

ませてくれています。このお花は地域保護者の方に一年を通じて生けていた

だいており職員一同心から感謝しているところ

です。本校は、この他にもいろいろな場面で地域や保護者の皆様にお力添えをいただいています。

今回、清田地区連合町内会様から連

合会だより執筆の機会をいただきましたので、その幾つかを紹介することで感謝の気持ちを伝える機会とさせていただきます。

○ 防犯ボランティアさんに感謝!

本校の校区では、日常的に三十名以上の防犯ボランティアさんや交通安全指導員の皆様が、通学路の要所要所に立ち、子ども達と

ども達と挨拶を交わしながら、その安全を見守ってくださっています。



防犯ボランティアさんに見守られて...

中には登校時間だけではなく、低学年や高学年の下校時刻に合わせて立ってくださいている方もおられ、心強い限りです。

また、集団下校訓練では、防犯ボラ



新しい信号機の渡り初めです!

なく、青パト(青色回転灯を装備した防犯パトロール車)なども出動していたです。本校

の校区では、この数年間大きな交通事故もなく、また他地区と比べて不審者情報も非常に少ないのですが、これも防犯ボランティアさんのこのような取組によるものと考え、有り難く思っています。

今年度四月には、交通量が多く事故が心配されていた場所に信号機(真栄五条二丁目と四条二丁目の間)が設置されました。真栄第四町内会やスクールゾーン実行委員会の皆様、そして関係諸団体各位のご尽力によるものから感謝しているところです。

○ 学習ボランティアさんに感謝!

子ども達がお世話になっているのは安全にかかわることばかりではありません。始業前には「お話宅急便」のお母さんたちが、そして休み時間には「お話の広場」のお母さん達が、定期的に本の読み聞かせをいただいています。この他、習字やパソコン、リコーダー、スキー等々、他の学習にかかわっても、地域や保護者の皆様による学習ボランティアさんのおかげ添えをいただいています。

○ 大学生に感謝!

本校は昨年度から、外国語(英語)活動に取り組んでいます。その活動の中で、地域にある国際大学の英語コミュニケーション学科の学生さん

に、ALT(英語活動の外国人指導助手)との打ち合わせや授業面での通訳として力をお借りしています。



大学生の英語の発音は本格的です!

学生さんによる英語のゲームや歌は楽しくて、子ども達にとっても人気があります。

○ 地域のお店や施設に感謝!

六年生の総合的な学習の取組では、実際に西友さんのお店に出向いて店長さんから「笑顔で明るく!」など、接客の基本を教えてもらい、その後実際にお店に出てレジを打ったり、商品の品出しをしたりと貴重な経験をさせていただきました。このような活動は、六年生以外の学年でも、フードDさんなど地域にあるお店の見学などご協力いただき、貴重な学習の場とさせていただきます。

また、五年生は特別老人ホーム秀寿園職員の方から高齢者との接し方など、福祉について学ばせていただいています。

○ 感謝の気持ちを育てる!

このように学校が地域や保護者の皆さまから支えられていることに対して、子ども達の中に感謝の気持ちを育てることは学校の大きな役割でもありません。

そこで、この全校朝会に防犯ボランティアさんなどお



防犯ボランティアさんからいただく貴重な一言!

世話になっている皆様を招待して感謝の気持ちを伝える取組を進めてきています。

○ 感謝の気持ちを表現!

今年度、本校は教育実践発表会を予定しています。地域や保護者にも公開し子ども達が明るく楽しく、そして頑張る姿を見たいと、ことでお礼の気持ちに代えたいと考えています。

十月十六日(土)に一・二時間目を公開します。地域の皆様には、是非ご予定に入れていただき、当日ご参観いただけると幸いです。

真栄第四町内会に

待望の信号機



四月九日(金) 信号機設置感謝の集い「喜びのセレモニー」が開催されました。信号機(手押し式)が設置されたのはバスをはじめ様々な車両が行き交う真栄四条二丁目と五条二丁目を挟む交差点です。真栄小学校の子どもたちが登下校する際、これまでは信号機のある場所まで遠回りを余儀なくされてきました。新しい信号機の登場で、子どもたちはもとより、お年寄りや地域の人たちからも「安全に道路を横断する事が出来ます」と大変歓迎されました。セレモニーでは真栄小学校の長尾明也校長の挨拶のあと、六年生の飯塚瑠菜さんが

関係者に感謝の言葉を伝えました。続いてスクールゾーン実行委員会委員長から交通安全に対する話があったあ

真栄第二町内会 環境美化で受賞



真栄第一町内会は昭和五十二年の設

立以来、地域のゴミ拾いや公園、花壇の清掃など環境美化に積極的に取り組むとともに、集団資源回収を通して、

と、二年生の八田岳土君が信号機のボタンを押して「青」を確認、参加者全員で横断歩道を渡り安全を心に誓い合っていました。



(佐々木康子)

進級の子に念願の信号機
町内会・女性

地域スポーツの普及・発展で表彰



長年にわたり社会教育の振興に功勞のあった人の表彰式で清田区清田一条二丁目小林荘子路さんが体育分野で受賞されました。

小林さんは昭和五十七年から体育指導員として活動し、区及び市の委員会の要

職にも就き、体育振興に寄与してきました。また、区内のスポーツ団体の連携を図るネットワークをいち早く創設するなど地域のスポーツの普及と発展に貢献しています。

校舎をとり巻く「ぬくもりの光」

一月二十二日(金) 薄暮の真栄中学校をキャンデルの光が取り囲み校舎を



足の様子でした。協議会では毎年つづける事にしています。

彩りました。これは、ぬくもりの光を通して地域とのきずなを深めようと「清田地区まちづくり協議会」と「真栄中学校」が共同で開催したものです。キャンデル作りには真栄中学校一、二年生、ミニ児童会館の児童、防犯ボランティア、父の八〇〇人が参加し、凡そ二時間ほどで全員がアイス・スノーキャンデルを作り上げました。キャンデルは校舎の周囲に設置され、午後四時に火をとますと、八〇〇個のぬくもりあふれる光が雪の周囲を彩りました。その光は道行く人たちや、ドライバーの心を癒し、生徒たちは自分の手で作り上げた幻想的な雰囲気





◁ 四月
交通安全街頭啓発



▷ 六月
パークゴルフ大会



◁ 七月
子どもちゃんバス遠足



▷ 八月
清田区防災訓練



▷ 一月
新年交礼会

清田地区町内会連合会年間主要事業

年月	事業名・内容
平成22年4月	・春の交通安全街頭啓発(交通安全対策部)
5月	・平成22年度清田地区町内会連合会定例総会(総務部) ・地区懇談会(総務部)
6月	・役員一日研修(総務部) ・研修会(女性部) ・不法投棄対策事業(保健衛生部)
7月	・連合会だより発行(広報部) ・第11回パークゴルフ大会(体育部) ・夏の交通安全街頭啓発(交通安全対策部) ・区民まつり参加・協力
8月	・清田区防災訓練参加(防災・防犯部) ・地区対抗壮年野球大会(体育部) ・親子レク(青少年育成部)
9月	・第35回歩く運動(体育部) ・秋の交通安全街頭啓発(交通安全対策部) ・防災防犯部講習会(防災・防犯部) ・あしりべつ神社祭典見回り(青少年育成部)
10月	・町連・民児協・福まち合同研修会(福祉厚生部) ・共同募金活動(福祉厚生部) ・不法投棄対策事業(保健衛生部)
11月	・冬の交通安全街頭啓発(交通安全対策部) ・大縄跳び大会(青少年育成部) ・クリーンさっぽろ研修会(保健衛生部)
12月	・歳末防犯キャンペーン・防犯パトロール(防災・防犯部) ・1円玉募金寄付(女性部) ・親子もちつき大会(青少年育成部)
平成23年1月	・新年交礼会(総務部) ・連合会だより発行(広報部)
随 時	・子どもの見守り活動(防災・防犯部) ・防犯夜間パトロール(防災・防犯部)

清田地区社会福祉協議会(福祉のまち推進センター)年間主要事業

年月	事業名・内容
平成22年5月	・清田地区社会福祉協議会総会
7月	・ふれあいバス見学旅行 ・子どもちゃんバス遠足
9月	・子どもちゃんミニオリンピック大会
10月	・福まち合同講演会
11月	・友愛訪問
12月	・福まちおたのしみ会
平成23年3月	・ほほえみ交流会



◁ 三月
ほほえみ交流会

平成22年度 清田地区町内会連合会役員名簿

役 職 名	氏 名	所属町内会	備 考
顧 問	長岡 武夫	清田町内会	
	林 茂	清田町内会	
	紙 栄吉	東真栄町内会	
会 長	牧野 晃	真栄第四町内会	
副 会 長	清野 廣一	真栄団地町内会	真栄団地町内会会長 総務部長 兼任
	田崎 克典	真栄第三町内会	真栄第三町内会会長 福まち運営委員長 兼任
	松原 宏悦	清田有楽町内会	清田有楽町内会会長 財務部長 兼任
監 事	島山 昇	新平岡町内会	
	土田 輝一	真栄団地町内会	真栄団地町内会副会長
総務部長	清野 廣一	真栄団地町内会	
財務部長	松原 宏悦	清田有楽町内会	
福祉厚生部長	大滝 正	清田町内会	清田地区民児協副会長 福まち協力員
保健衛生部長	山田 忠彦	真栄団地町内会	
防災・防犯部長	横江 光良	清田有楽町内会	
交通安全対策部長	林 義隆	真栄第四町内会	
青少年育成部長	田上 雄二	真栄第一町内会	
女性部長	茂木 良子	真栄第二町内会	
体育部長	住吉 誠一	真栄第一町内会	清田体育振興会会長
広報部長	小山田 義信	真栄団地町内会	真栄団地町内会副会長
理 事	林 憲	清田町内会	清田町内会会長 清田地区 青少年育成委員会会長
	野村 正巳	新平岡町内会	新平岡町内会会長
	藤本 石雄	真栄第一町内会	真栄第一町内会会長
	氏家 正	真栄第二町内会	真栄第二町内会会長
	設楽 省三	真栄第四町内会	真栄第四町内会会長
	宮下 隆敏	東真栄町内会	東真栄町内会会長
	佐藤 孝之	美しが丘町内会	美しが丘町内会会長
	漆館 勝弘	有明町内会	有明町内会会長

**お気軽に
お越し下さい**
清田まちづくりセンター

清田まちづくりセンター所長の帯野でございます。今年の四月に赴任して参りました。早いものでもう三か月余りが経過いたしました。まだまだ手探りの状況が続いておりますが、清田地区のまちづくりのために皆様方と一緒に頑張っていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、まちづくりセンターは、札幌市に八十七箇所あり、地域の方々にとつての「一番身近な札幌市の窓口」となるものです。地域の中心となる町内会連合会や各種団体と札幌市との調整、地域のもちづくり活動のお手伝い、地域課題に関する情報収集や提供などをさせていただいております。今年度は、清田地区の各団体で構成されており、「清田地区住みよい安心安全なまちづくり協議会」の活動が二年目に入りますので、より充実した活動となるように様々な支援をして参

りたいと思っております。また、清田地区町内会連合会のホームページを新たに制作し、色々な情報を掲載する計画がありますので、まちづくりセンターに集まる多くの情報も提供していきたいと思



編集後記

思っております。清田まちづくりセンターは今後とも地域の方々とともに歩んで参りますので、地域の情報などがありましたらどうぞお気軽にお寄せください。私・連絡員(島田、鳴海)がお待ちしております。(所長 帯野 祈男)

町内会長の座談会で独り暮らしの高齢者への支援協力活動が話されたが、把握するためにプライバシーという高いハードルがあるようだ。昔は隣近所のつながりは濃密なものがあつたが、今は隣の住人の名を知らないことも珍しくない。町内会の住居案内の設置や名前を載せるのも「プライバシーの侵害だ」と言われる。「隣は何をする人ぞ」では助け合う街づくりなど出来るはずもない。個人情報保護は必要だが、あまりにも神経質では何一つ進まない感がある。プライバシーを守る半面、地域の共生が崩れて行くのではないか、難しい問題を秘めていると座談会に出てフト感じた。(小山田義信)

二十二年度の広報部員です(五十音順)
池田 敏夫(真栄第一)
小山田 義信(真栄団地)
佐々木 康子(真栄第四)
清水 芳洞(真栄第三)
長屋 俊一(真栄第二)
細木 信利(美しが丘)
松田 英樹(東真栄)
松原 宏悦(清田有楽)
谷敷 哲子(清田)
編集協力 延明(エンブレム)
清水 祈男(まちづくりセンター)
帯野 祈男(まちづくりセンター)
地域の話題がありましたら、部員にご連絡下さい。